

経営比較分析表（令和5年度決算）

宮崎県五ヶ瀬町 国保病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	ド訓	教
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
3,385	3,771	第2種該当	-	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
36	18	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	54
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
28	15	43

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の病院・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

山間へき地である町の唯一の医療機関として、夜間休日問わず地域医療及び町民の命と健康を守る責務を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

人口減少の影響等による入院及び外来患者数の減少で医療収益が減少し、かつ人件費の増加及び物価高騰を受けての材料費の増により医療費用が増加したことで、医療収支比率が減少した。経常収支比率の上昇については、令和6年度から西臼杵郡内の3公立病院の経営統合及び機能再編により組織を広域行政事務組合に移すことから、キャッシュ確保のため繰出基率以上の負担金を受けたことによる。令和6年度からの経営統合により、一般病床を4床減、介護療養を介護医療院に転換を行った。

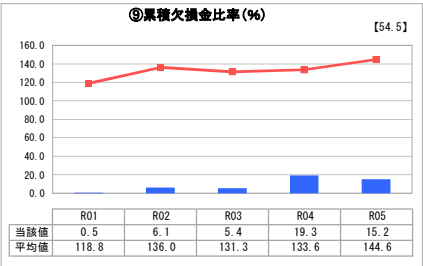
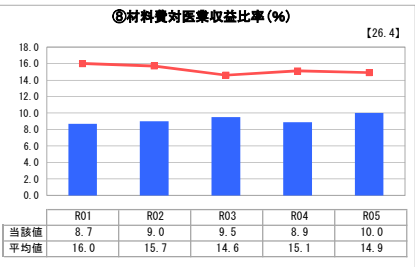
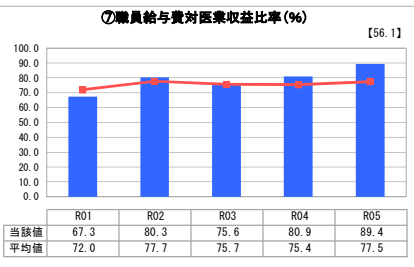
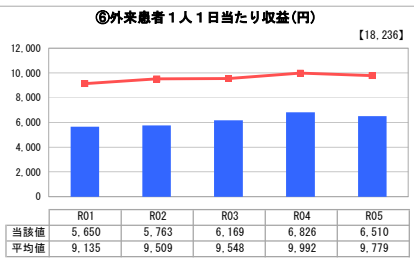
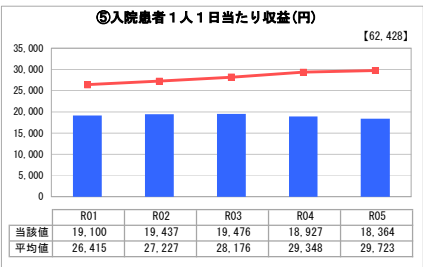
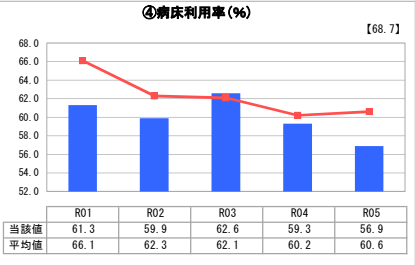
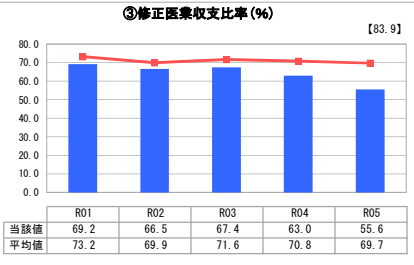
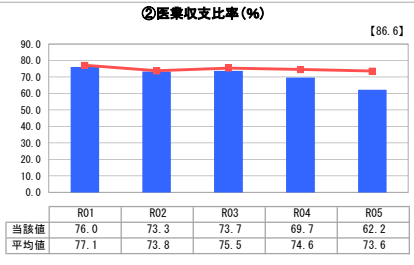
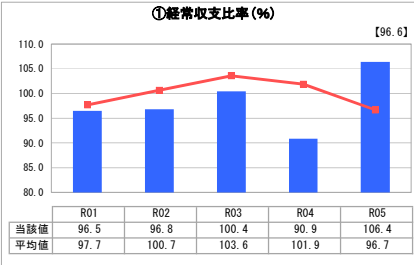
2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率については、施設・設備の老朽化が進んでおり、急な故障や破損等で修繕や入れ替えの費用が増加している。現在、医療機器備品も含め計画的な更新作業を進めている。

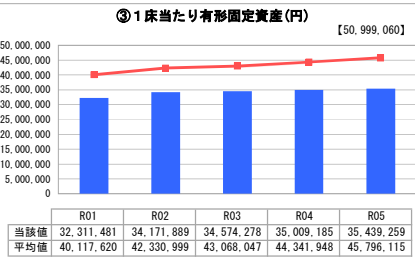
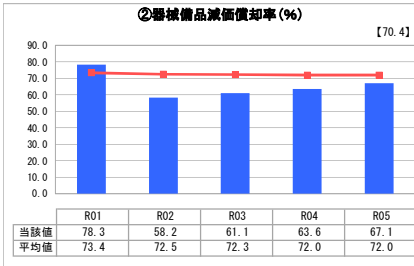
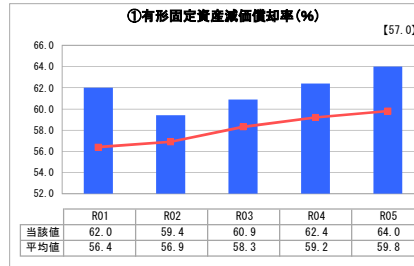
全体総括

人口減少による影響で病床利用率が低い状態が続いており、医療収益に影響している。また、物価高騰の影響で経費が増加、ペースアップ等により職員給与の比率も高くなっている。加算が取れる体制を整備し、1人当たりの収益増加に努めていく。令和6年度には一般病床を4床削減し、介護医療院への転換を行ったが、病床機能及び病床数の再検討を行っていく。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。